



Title	1907年-1917年の高等学校長会議における諮問事項と決議事項
Author(s)	廣瀬, 公彦; Hirose, Kimihiko
Citation	北海道大学大学文書館年報, 17, 30-74
Issue Date	2022-03-31
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/85382">https://hdl.handle.net/2115/85382</a>
Type	departmental bulletin paper
File Information	2.pdf



## < 研究ノート >

# 1907年～1917年の高等学校長会議における諮問事項と決議事項

廣瀬 公彦

### はじめに

「東北帝国大学ニ関スル件」<sup>1)</sup> (勅令第236号、1907年6月22日) 第2条「札幌農学校ヲ東北帝国大学農科大学トス」により、札幌農学校(1876年9月設置)は1907年9月に東北帝国大学農科大学となった。「東北帝国大学農科大学官制」<sup>2)</sup> (勅令第237号、1907年6月22日)は、農科大学に「大学予科」を附属することを定めた。東北帝国大学農科大学大学予科(以下、「東北農大予科」と略す場合がある)は、「東北帝国大学農科大学規則」(1907年6月27日制定)中の「大学予科規則」<sup>3)</sup>において、「東北帝国大学農科大学ニ入学スル者ノ為メ大学予科ヲ置ク」(第1条)、「大学予科ノ修業年限ハ三箇年トス」(第3条)、「大学予科ニ入学スルコトヲ得ル者ハ中学校ヲ卒業シタル者若クハ専門学校入学者検定規程ニ拠リ検定ニ合格シタル者トス」(第5条)とあり、中学校卒業者を入学資格とする修業年限3年の課程であった。「東北帝国大学農科大学規則」中の「農科大学学則」第3節第2条が「本学大学予科ヲ卒業シタル者ヲ以テ其志望スル学科ノ第一年級ニ編入ス」<sup>4)</sup>と定めており、大学予科卒業後は東北帝国大学農科大学への第一次入学資格を得た。入学資格、修業年限、帝国大学への進入経路という点で高等学校大学予科(以下、「高等学校」と略す場合がある)と同等であった。1907年5月13日付『官報』掲載の東北農大予科を含む「生徒募集」広告の第2項には、「大学予科ハ高等学校大学予科第二部〔後述〕ト其程度ヲ同シクシ修業年限ハ三箇年トナルヘシ」<sup>5)</sup>とある(図1参照)。高等学校は、1907年3月の中学校卒業者に対し、7月に入学者選抜試験を実施し、9月から入学という日程であり、5月4日付『官報』にて「本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒ノ概数及選抜試験ノ出願期限等」<sup>6)</sup> (文部省告示第152号)と「生徒募集」広告<sup>7)</sup>を掲載した。東北農大予科も、7月試験実施、9月新学年開始の日程であったため、同じ時期に生徒募集を行い、高等学校と同等の学校であることを喧伝したとみられる。

「高等学校」は、「中学校令」<sup>8)</sup> (勅令第15号、1886年4月10日)により、1886年～1887年に第一～第五高等中学校として発足した。1894年、「高等学校令」<sup>9)</sup> (勅令第75号、1894年6月25日)によってそれぞれ第一～第五高等学校と改称し(第1条)、「専門学科ヲ教授スル所トス。但帝国大学ニ入学スル者ノ為メ予科ヲ設クルコトヲ得」(第2条)と定められた。その後、第六高等学校(1900年設置)、第七高等学校造士館(1901年設置)、第八高等学校(1908年設置)が増設された。その概略を時系列で以下に掲げる。

### ○生徒募集

## 札幌農学校

明治四十年五月

本年九月入学セシムヘキ豫科第一級生徒百人、農學實科、林學科及土木工學科第一級生徒各三十人ヲ募集ス志願者ハ左記ノ各項ヲ心得願出ツヘシ

- 一 本校ハ本年九月ヨリ帝國大學農科大學トナルヲ以テ本年募集スル豫科生ハ入学ノ時ニ於テ大學豫科生トナルヘシ
- 二 右大學豫科ハ高等學校大學豫科第二部ト其程度ヲ同シクシ修業年限ハ三箇年トナルヘシ
- 三 大學豫科卒業者ハ本校ニ開始スヘキ農科大學農學科農藝化學科畜産學科林學科ノ二ニ進入スルモノトス
- 四 右大學諸學科ノ修業年限ハ三箇年トナルヘシ
- 五 農學實科ハ修業年限三箇年ニシテ專ラ實習ニ重キヲ置ク
- 六 本年募集スル林學科及土木工學科ハ従前ノ課程ト異ナルコトナシ
- 七 中學校ヲ卒業シタル者若クハ專門學校入学者檢定規程ニ依ル檢定ニ合格シタル者ハ大學豫科農學實科林學科及土木工學科第一級ヘ入学ヲ許ス
- 八 前項志願者豫定人員ニ超過スルトキハ選抜試験ヲ施行シ合格者ニ入学ヲ許ス
- 九 選抜試験科目ハ、國語漢文、數學、英語、動物學、植物學、化學、物理學トス
- 試驗期日及施行地、本年七月十五日ヨリ札幌（本校）及東京ニ於テ施行ス
- 但シ東京ニ於ケル試驗場及試験日割等ハ來ル六月二十五日後各志願者ニ通知ス
- 出願期日、入学志願者ハ來ル六月二十五日マデニ本校ニ到達スヘキ見込ヲ以テ入学願書ニ履歴書中學校長ノ卒業證書若クハ專門學校入学者檢定規程ニ依ル檢定合格證書寫、體格検査證寫眞及入学手数料金三圓（（<sup>1</sup>）附カス）ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ
- 但シ寫眞ハ手札形（（<sup>2</sup>）貼附セサルモノ）ニシテ出願前六箇月以内ニ撮影裏面ニ氏名及撮影ノ年月日ヲ記スヘシ

入学願書式（用紙美濃紙）

私儀御校學科土木工學科農學實科林學科ヘ入学志願ニ付御許可相成度別紙履歴書中學校長證明書體格検査證寫眞並ニ入学手数料金參圓相添此段奉願候也

但試驗ハ東京ニ於テ相受度候也

寄留地、（<sup>3</sup>） 族籍父兄ノ名及職業

年月日、（<sup>4</sup>） 氏名（（<sup>5</sup>））印  
（<sup>6</sup>） 何年何月何日生

---

履歴書式（用紙美濃紙）

一何年何月ヨリ、何年何月迄何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業用書何々

一何年何月何學校ニ於テ何課程卒業

右ノ通相違無之候也

年月日、（<sup>7</sup>） 氏名印  
（<sup>8</sup>） 身體検査證  
（<sup>9</sup>） 族籍父兄ノ名及職業  
（<sup>10</sup>） 寄留地

一體格、一身長

一體重、一胸圍、一臂柱

一視力、一耳疾

一齒牙、一呼吸器

一言語、一疾病（既往及現在）

右検査致候處相違無之候也

住所、何學校留

年月日、氏名印

図1 「生徒募集」広告（1907年5月13日付『官報』）

- 1894年 7月 第一・第二・第四・第五高等学校に医学部・大学予科を設置  
第三高等学校に法学部・医学部・工学部を設置<sup>10)</sup>
- 1897年 4月 第三高等学校に大学予科を設置  
第五高等学校に工学部を設置<sup>11)</sup>
- 1900年 4月 第六高等学校に大学予科を設置<sup>12)</sup>
- 1901年 4月 第一高等学校医学部を千葉医学専門学校と改称  
第二高等学校医学部を仙台医学専門学校と改称  
第三高等学校医学部を岡山医学専門学校と改称、法学部・工学部を廃止  
第四高等学校医学部を金沢医学専門学校と改称  
第五高等学校医学部を長崎医学専門学校と改称<sup>13)</sup>
- 1901年 6月 第七高等学校造士館に大学予科を設置<sup>14)</sup>
- 1906年 3月 第五高等学校工学部を熊本高等工業学校と改称<sup>15)</sup>
- 1908年 4月 第八高等学校に大学予科を設置<sup>16)</sup>

各学部は1901年および1906年に医学専門学校や高等工業学校へ改称あるいは廃止となり、1908年時点の高等学校8校は、大学予科のみからなる帝国大学進学のための予備教育を行う教育階梯として位置づけられた。

高等学校大学予科には、「大学予科規程」<sup>17)</sup> (文部省令第18号、1894年7月21日)により、第一部～第三部が設けられ、第一部は法科・文科、第二部は工科・理科・農科(獣医科を含む)、第三部は医科と、それぞれ進入する帝国大学の分科大学が割り当てられていた。

東北農大予科は、東北帝国大学農科大学へ進入するための課程であり、高等学校大学予科第二部に相当することとなる。

「高等学校令」<sup>18)</sup> (勅令第389号、1918年12月6日)や「大学令」<sup>19)</sup> (勅令第388号、1918年12月6日)により高等学校や大学の予科が増設される以前、1917年までに存した高等学校の一覧を表1に示す。

表1 高等学校(高等中学校)所在地、設置年月

学校名	所在地	設置年月
第一高等学校(第一高等中学校)	東京市神田区	1886年4月
第二高等学校(第二高等中学校)	宮城県仙台市	1887年4月
第三高等学校(第三高等中学校)	京都府京都市	1886年4月
第四高等学校(第四高等中学校)	石川県金沢市	1887年4月
第五高等学校(第五高等中学校)	熊本県熊本市	1887年5月
第六高等学校	岡山県岡山市	1900年4月
第七高等学校造士館	鹿児島県鹿児島市	1901年4月
第八高等学校	愛知県名古屋市	1908年3月

[注] 各学校一覧による。

高等学校は「高等学校令」(勅令第75号、1894年6月25日)に基づいて設置され、入学者選抜試験に関しては「高等学校大学予科入学者選抜試験規程」<sup>20)</sup> (文部省告示第84号、1903年4月21日)において出願資格、検定料金、入学願書の書式等が規定された。一方、東北農大予科は「東北帝国大学農科大学官制」(勅令第237号、1907年6月22日)により設置され、入学者選抜試験に関しては「東北帝国大学農科大学規則」中の「大学予科規則」において定員・志願者資格・検定料金・入学願書の書式を定めた。

ところで、文部省は、高等学校が設置された翌年の1895年より毎年、「高等学校長会議」を開催した。各高等学校長のほか、文部大臣、次官、専門学務局長が参加した。文部省より各高等学校へ宛てて、高等学校大学予科規程の改正、入学者選抜試験の実施方法、学科課程や外国語教授法などの教育方法、修身授業や訓育など生徒指導法、帝国大学への進入志望者配当等について諮問がなされ、会議における修正を経て決議がなされた。各高等学校は、研究費増額、教員定数の増員、施設新設の要望等を会議においてとりまとめ、協議

事項として文部省へ提出した。高等学校長会議は、文部省と高等学校が実務上の課題や問題について相互に話し合う場であった<sup>21)</sup>。

東北農大予科は、高等学校と異なる法令に基づきつつ、先述の「生徒募集」広告に「二右大学予科ハ高等学校大学予科第二部ト其程度ヲ同シクシ修業年限ハ三箇年トナルヘシ」とあったように同じ階梯であったのであり、参加の経緯は不明ながら、1908年～1917年に高等学校長会議に参加した<sup>22)</sup>。

本稿では、東北農大予科の入学者選抜試験の検討に関する予備的な作業として、高等学校長会議に対する文部省の諮問事項、会議における決議事項を資料的に確認する。

高等学校長会議に関わる資料として、下記の熊本大学五高記念館所蔵の簿書を参照した。資料名と資料番号を以下に掲げる。

- ・「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」(17-C-1-4)
- ・「校長会議決議 教務課 大正三年五月」(17-C-1-5)
- ・「高等学校長会議決議 自大正四年至大正六年」(17-C-1-6)

上記の簿書は、文部省が第五高等学校宛てに送付した高等学校長会議の開催通知（諮問事項を含む場合がある）や会議の配付資料および決議事項の写し（協議事項も添付される場合がある）を第五高等学校が綴ったものである。

高等学校長会議の諮問事項は、1907年、1909年～1911年、1916年が五高記念館所蔵の簿書、1912年～1915年が『文部省年報』に記述されており、1908年、1917年はいまだ確認をしていない。決議事項は、1907年～1911年、1913年～1916年が五高記念館所蔵の簿書に綴られた文書に記述されており、1912年、1917年はいまだ確認をしていない。その他、協議事項（1908年、1914年～1916年）の文書が五高記念館所蔵の簿書に綴られており、入学者選抜試験に関することが記述されているので、あわせて触れる。

## 1. 1907年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1907年、文部省は4月20日～4月29日の日程で文部省（東京市麹町区）を会場に高等学校長会議を開催した<sup>23)</sup>。日程の詳細は未詳である。

### (1) 諮問事項

諮問事項は、4月9日、福原鐸二郎文部省専門学務局長より4件が通知された<sup>24)</sup>。

- 一、高等学校大学予科ノ授業料ヲ増額スルノ得失。若シ増額ヲ可トセハ其額如何。
  - 二、学校図書館ヲ公開スルノ得失。若シ公開ストセハ其ノ設備方法等ヲ如何ニスヘキカ。
  - 三、高等学校ニ於テ公衆ノ為メニ學術講談会ヲ開設スル方法
  - 四、明治三十九年文部省訓令第一号発布後之ニ関シ施致シタル事項
- 翌4月10日、福原局長は諮問事項を1件追加した旨を通知した<sup>25)</sup>。

- 一、現在ノ高等学校教授ノ定員ハ出来得ル限り之ヲ減シ剩シ得タル金額ヲ以テ教授俸給ヲ増額スルノ得失如何

## (2) 決議事項

決議事項は12件あり<sup>26)</sup>、そのうち6件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、学校職員定員ヲ減シ俸給ヲ厚クスル件

俸給ヲ厚クスルハ望ム所ナルモ教官受持授業時数ヲ増加スルヲ好マス。故ニ現在職員ハ之ヲ減少スルコトヲ得ス

- 二、学校ノ図書室ヲ公開スル件

最モ有益ノコト、認ムルニヨリ各校共其方案ヲ設ケ本省ノ認可ヲ得テ公開スルコトヲ計画スヘシ。

但二三ノ学校ニ於テハ特ニ建物ノ建設ヲ要スルコトアルヘシ

- 三、通俗教育講談会ヲ開ク件

最モ有益ト認ムルニ依リ各校共簡易適切ノ方法ニヨリ時々開設スルコトヲ努ムヘシ

- 四、大学へ入学ニ関スル件

- (1) 各分科大学ニ於テ選抜試験ヲ行フヲ原則トセラレタシ。但シ医科大学、農科大学ノ如キハ当分ノ内現行ノ如ク高等学校卒業ノ成績順ト本人ノ志望トニ依リ配当スルコト

- (2) 分科大学ノ選抜試験ハ便宜上地方庁又ハ直轄学校等ニ依頼シ七月ニ於テ之ヲ行ハレタキコト

- 五、現行高等学校入学者選抜試験法改正ノ件

現行規程ハ一利一害アルモ将来ハ成ルヘク左ノ如ク改正セラレンコトヲ希望ス

- (1) 試験ハ各校別ニ之ヲ行フコト

但シ高等学校ノ都合ニヨリテハ最寄地方在住受験人ノ試験ヲ他ノ高等学校ニ依頼スルコトアルヘシ

- (2) 試験問題ハ成ルヘク各校同一ニスル方法ヲ取ルコト

- (3) 試験料ハ従来ノ通五円トシ成ルヘク試験委員ニ手当ヲ給セラレタキコト

- 六、明治四十年ニ募集スヘキ生徒数ノ件〔原資料では、表は縦書き、数字は漢数字表記であるが、便宜上横書きとし算用数字に改める。以下特に断らない。〕

募集生徒概数ハ左ノ如シ

但シ左ノ数ハ四十年七月ニ於ケル第一年ノ落第生徒数ヲ含ム

部類		学校		第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	通計
第一部	甲類	英語法科 政治科		80	50	42	85	88	42	45	432
	乙類	英語文科		45	—	45	45	45	45	45	270
	丙類	独語法科 独語文科		40	44	43	45	42	42	44	300
	丁類	仏語法科 仏語文科		40	—	—	—	—	—	—	40
第二部	甲類	工科		84	48	47	46	48	42	48	363
	乙類	理科、農科、医科 ノ内葉学科		35	77	37	30	40	37	46	302
第三部	医科			74	43	43	40	43	42	43	328
合計				398	262	257	291	306	250	271	2,035

## 備考

- 一、本表中ノ人員ハ都合ニヨリ増減スルコトアルヘシ
- 二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ七十四人ノ内凡四十人ハ独語ヲ以テ  
入学試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

## 七、選抜試験其他ノ期日ノ件

## (1) 諸事承合セノ為メ出頭期日

- 第一高等学校 受験志望者名票持参ノ時  
第三高等学校 七月三日 午前八時ヨリ午後三時マテ  
其他ノ高等学校 全四日 全上

## (2) 体格検査期日

- 第一高等学校 七月二日ヨリ全五日マテ  
第三高等学校 全四日ヨリ全六日マテ  
其他ノ高等学校 全五日、六日

## (3) 試験期日 全九日ヨリ十二日迄

## 八、試験科目、時間、点数ノ件

左ノ如ク定ム

科目	時間	部	点数
国語漢文	三時間	第一部第二部第三部	二百点
外国語	三時間	全	全
数学	三時間	第一部	二百点
		第二部第三部	四百点
歴史	一時間	第一部第二部第三部	百点
物理	一時間	第一部	五十点
		第二部第三部	百点
化学	一時間	第一部	五十点
		第二部第三部	百点

右大科目ニ零点アル者ハ不入学トス

九、試験問題担当ノ件

学校 科目	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七
国語	作文			文法		解釈	
漢文		解釈					
外国語	独語仏語 全体	解釈	書取 文法		国文英訳		
数学	算術			代数		三角	幾何
歴史							歴史
物理					物理		
化学			化学				

十、委員選出ノ件

第一高等学校 未定員

第二高等学校ヨリ第七高等学校造士館マテ 三名ツ、

委員候補者ハ各校書面ヲ以テ申出ツルコト

十一、生徒転校ノ件

生徒転校ノ出願ニ対シ其事由ノ認定及拒否ハ凡テ関係学校長ニ一任セラル、コト

十二、授業料増額ノ件

授業料ハ将来漸次増額スルヲ至当ト認ムルモ現行授業料ハ明治三十八年ニ改正シタルモノニシテ年月ヲ経ルコト甚浅ク未タ旧規程ニヨリテ増額以前ノ授業料額ヲ徴収スルモノアルカ如キ今日ニ付、両三年間ハ現在ノ据置カレタシ。但シ増額スルコト、ナレハ一ヶ年三十五円ヲ適當ノ額ト認ム

2. 1908年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1908年、文部省は4月6日から文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>27)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

(1) 諮問事項

1908年の諮問事項は確認できていない。

(2) 決議事項

決議事項は8件あり<sup>28)</sup>、すべてが入学者選抜試験に関わる事項である。

一、各学校ニ於テ毎年入学ヲ許スヘキ人員ハ文部省ト協議シ部類別ニ之ヲ定ムヘシ  
選抜試験ノ結果如何ニ拘ハラス定員ニ充ツルマテハ志望者ヲ入学セシムヘシ  
入学志望者ノ数定員ニ充タサルトキハ再募集ヲ為スヘシ

二、各学校毎ニ入学志望者ヲシテ其ノ志望スル部ヲ定メシメ其部中ニ就キテハ志望スル類ノ志望順位ヲ指定スルヲ得シムヘシ

第一部及第二部ノ類ノ區別ハ前年ノ例ニ仍ル

三、入学者ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル

一、入学志望者中ヨリ選抜試験成績順ニ依リ当該学校ニ入学セシムヘキ総数ニ等シキ人員ヲ選出シ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ配当ス

二、第一号ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三、第一号第二号ニ依リ配当ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類已ニ満員トナリ配当スルコトヲ得サル者ニ就テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニシテ欠員アルモノニ配当ス

四、第三ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順序ニ依ル

五、第三号ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順序相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六、前数号ニ依リ配当ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク満員トナリタルトキハ入学スルヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配当ノ結果又ハ事故ノ為入学者ニ欠員ヲ生シタルトキハ前項第一号選出人員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填スヘシ

四、入学者決定後欠員ヲ生シタルトキハ九月三十日マテハ前記ノ方法ニ依リ其都度之ヲ補填スヘシ

五、選抜試験ノ期日ハ各学校長協議ノ上之ヲ定メ文部省ニ報告スヘシ。但各学校必スシモ同日ニ於テスルヲ要セス

六、試験科目ハ左ノ如シ

第一部 国語及漢文 外国語 数学 地理及歴史

第二部・第三部 国語及漢文 外国語 数学 物理及化学

七、試験問題ハ各校長自ラ之ヲ選定スヘシ

前項ノ問題ハ試験終了後直ニ文部省ニ報告シ且各学校間相互交換スヘシ

八、採点ノ標準ハ大体前年ノ例ニ仍ル〔左ノ如シ〕

国語及漢文200 外国語200 数学(一部)200(二三部)300 地理及歴史100 物理及化学100 (札幌 各100)

### (3) 協議事項

協議事項は4件あり<sup>29)</sup>、すべて入学者選抜試験に関わる事項である。

(一) 試験其他ノ期日ノ件

(二) 試験科目、時間、点数ノ件

(三) 各校ヨリ選挙スヘキ委員ノ人員、担当ノ試験科目ノ件

(四) 各校ニ於テ選定スヘキ問題ノ科目別ノ件

### 3. 1909年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1909年、文部省は4月15日～4月26日の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>30)</sup>。日程の詳細は未詳である。

#### (1) 諮問事項

諮問事項は7件あり<sup>31)</sup>、そのうち3件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、高等学校入学選抜試験規程（規程副フ）
- 一、各高等学校ニ於ケル入学選抜試験ノ期日ヲ一定シ試験問題ヲ同一ニスルノ方法
- 一、入学志望者ヲシテ便宜ニ任意ノ高等学校ニ於テ受験セシムルノ可否
- 一、昨年来施行セル外国語分割教授法ニ関スル成績並ニ之ニ対スル将来ノ意見
- 一、倫理ノ教授方法ニ関スル意見
- 一、寄宿舎ニ於ケル諸種ノ弊害ヲ矯正スル方法
- 一、現行ノ学科課程中改廢ヲ要スル事項ノ有無並ニ之ニ関スル意見

#### (2) 決議事項

決議事項は14件あり<sup>32)</sup>、そのうち12件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、入学者選抜試験ハ各高等学校ニ於テ各自之ヲ施行スルコト
- 二、東北農科大学予科及第七高等学校造士館ハ各自他ノ学校ニ先シ入学者選抜試験ヲ施行シ他ノ七個高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 三、入学者選抜試験問題ハ各高等学校ニ於テ一定スヘキ必要ヲ認メサルモ文部省ニ於テ一定ノ必要アリトセハ之ニ同意スルコト
- 四、第七高等学校造士館ハ試験問題ヲ選定シ文部省ノ審査ヲ受クルコト
- 五、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三学科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト
- 六、入学者選抜試験学科目ヲ左ノ如ク定ム
  - 国語及漢文
  - 外国語 一、二、三部志望者ニ課ス
  - 数学
  - 歴史、地理（地文ヲ含ム）一部志望者ニ課ス
  - 物理、動物、生理 二、三部志望者ニ課ス
- 七、入学者選抜試験問題選定ニツキテノ大体ノ標準ヲ左ノ如ク定ム
  - 〔国語及漢文（三時間）〕
  - （イ）擬古文ノ問題ヲ課スルコトヲ避ケ国語及漢文ヲ混淆シテ問題ヲ出スコト
  - （ロ）和漢混淆ノ文章ヲ出シ解釈ヲナサシムルコト
  - （ハ）簡易通用ノ漢語若クハ平易ナル漢文ヲ出シ解釈ヲナサシムルモ可ナルコト

- (ニ) 作文ノ文体ハ普通文体ニ限り文法文字ニ注意スヘキコトヲ特ニ問題ニ付記シ置キ文法、文字等ニツキテノ成績ヲモ同時ニ考査スルコト〔トシ別ニ文法ノ問題ヲ課セサルコト〕
- (ホ) 仮字ニテ書ケル口語文ヲ出シ之ヲ普通文ニ改作セシムルモ可ナルコト
- (ヘ) 長篇ノ文章ヲ出シ文意ヲ失ハスシテ之ヲ簡約セシムルモ可ナルコト
- (ト) 短篇ノ文章ヲ出シ文意ヲ失ハスシテ之ヲ布衍セシムルモ可ナルコト
- (チ) 普通文ヲ朗読シテ書取ヲナサシメ文字仮字遣等ニツキ成績ヲ考査スルコト

外国語（三時間）

- (イ) 欧文和訳ノ問題ハ成ルヘク文章ノ短キニ失スルノ弊ヲ避ケ比較的長文ヲ選フコト
- (ロ) 和文欧訳ノ問題ハ成ルヘク平易ナル題目ヲ選フヘキコト  
普通欧文読本ノ中近来諸学校ニ常用セサルモノ、中ヨリ平易適當ナル文章ヲ選ビ之ヲ和訳シテ問題ヲ作り之ヲ復文セシムルモ可ナルコト
- (ハ) 文法ハ応用ヲ旨トシ其問題ハ平易ナル False Syntax ヲ選ビ、或ハ Simple Sentences ヲ Complex Sentence ニ改作セシメ、或ハ Direct ト indirect narratives 相互ノ改作ヲナサシムル位ノ程度ニ止ムルコト
- (ニ) 書取ノ問題トシテハ平易ニシテ聴取りテ意義ヲ理解シ易ク、且同一ノ言語ノ屢々顯ハレサル文章ヲ選フコト

数学（六時間）

- (イ) 算術、代数、幾何及三角ノ問題ヲ別々ニ出シ、特ニ各問題ヲ夫々ノ科目ニ固有ナル方法ニ依リ解クヘキコトノ注意ヲ与ヘオクコト
- (ロ) 算術及三角ハ夫々二問、代数及幾何ハ夫々四問、合シテ十二問ヲ出シ、幾何ノ中ニ立体ニ関スル簡易ナル一問ヲ交ヘオクコト
- (ハ) 数学試験ハ二日ニ亘リ算術、幾何（三時間）ヲ一度、代数、三角（三時間）ヲ一度ニ試験スルコト

歴史（一時間半）

- (イ) 問題ノ数ハ大約三問又ハ四問トシ、日本歴史、西洋歴史各一問、其他日本東洋及西洋歴史ニ亘リ人名、地名又ハ事件等ヲ一纏メニシタル一問ヲ出スコト
- (ロ) 問題ヲ成ルヘク近世史ノ中ヨリ選フヲ可トスルコト

地理及〔（）地文〔ヲ含ム〕〕（一時間半）

- (イ) 問題ノ数及選方ハ略ホ歴史（イ）ニ準スルコト
- (ロ) 地文一問ヲ加ヘオクコト

動物（一時間半）

- (イ) 問題ノ数ハ大約三問又ハ四問トスルコト
- (ロ) 問題ハ成ルヘク普通ノ品種ヲ選ビ、若シ計算ニ関スルモノヲ出ストキハ極メテ平易ナルモノナラサルヘカラサルコト

動物及生理 (一時間半)

(イ) 問題ノ数ハ大約三問又ハ四問トナスコト

(ロ) 人体ノ生理ニ関シ一問ヲ出スコト

八、入学選抜試験学科目満点表ヲ左ノ如ク定ム

	国語及漢文	外国語	数学	歴史地理及地文	物理動物及生理
一部志望者	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	
二三部志望者	二〇〇	二〇〇	三〇〇		一〇〇

附

一此表ハ各高等学校ニ於テ便宜ニ之ヲ受験者ニ公示スルモ差障ナシ

一文部省ニテ問題ヲ決定スル際、各問題毎ニ一々之ヲ付与スヘキ満点ノ数ヲ定

メ一括シテ別ニ各高等学校ニ通知シオクモ此等ハ一切公示セサルヘキコト

九、入学〔者〕選抜試験施行ニ関スル日割ヲ左ノ如ク定ム

出頭締切期限 六月十五日

証票授受、諸事承合等 昨年ノ例ニ拠ル (体格検査日ノ前日)

体格検査日割 第一高等学校 学科目試験終了ノ後

第二高等学校 七月九日、十日ノ二日

第三高等学校 七月八日、九日、十日ノ三日

第四高等学校 七月九日、十日ノ二日

第五高等学校 七月九日、十日ノ二日

第六高等学校 七月八日、九日ノ二日

第八高等学校 七月八日、九日、十日ノ三日

学科目試験日割 数学 (算術幾何) 七月十一日午前八時ヨリ午前十一時マテ

外国語 (英仏独) 七月十二日午前八時ヨリ午前十一時マテ

数学 (代数三角) 七月十三日午前八時ヨリ午前十一時マテ

国語及漢文 七月十四日午前八時ヨリ午前十一時マテ

歴史地理 (地文) 七月十五日午前八時ヨリ午前十一時マテ

物理動物及生理

一〇、各高等学校ニ収容スヘキ生徒数左ノ如シ

部別	類別	一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高	計
第一部	甲	80	45	45	84	64	45	45	43	728
	乙	44		45	86	42	45	45		
	丙	44	45	45	40	42	45	44	43	
	丁	44								
第二部	甲	76	40	90	40	84	45	45	84	504
	乙	38	80	45	36	42	45	44	42	372
第三部	英	40	40	40	40	40	40	40	40	320
	独	34	—	—	—	—	—	—	—	34
計		400	250	310	276	334	265	263	252	2,350

一一、第七高等学校造士館ノ入学〔者〕選抜試験施行ニ関スル日割ヲ左ノ如ク定ム

出願締切期限 五月十七四日

証票授受、諸事承合等 五月十七日

学科目試験日割 数学（算術幾何）五月二十日午後三時ヨリ全五時半マテ  
数学（代数三角）五月二十一日午後三時ヨリ全五時半マテ  
国語及漢文 五月二十二日午後一時半ヨリ全四時半マテ  
英語 五月二十三日午前九時ヨリ午前十二時マテ  
地理（地文）歴史 五月二十三日午後一時ヨリ全三時半マテ  
物理動物及生理

体格検査日割 五月二十四日、二十五日ノ二日

一二、入学者選抜試験規程ヲ左ノ如ク定メ本年ヨリ施行ス

高等学校大学予科入学者選抜試験規程

第一条 選抜試験ハ入学志望者ノ数当該高等学校生徒募集人員ニ超過シタルトキ之ヲ行フ

第二条 各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒ノ概数及選抜試験施行ノ期日ハ文部大臣之ヲ告示ス

第三条 選抜試験ノ学科目ハ中学校ノ学科目（法制經濟及唱歌ヲ除ク）中ニ就キ毎回文部大臣之ヲ告示ス

前項試験ハ中学校卒業ノ程度ニ拠ル

第四条 選抜試験ハ高等学校長之ヲ行フ

第五条 選抜試験ヲ受ケントスルモノハ其入学後修業セントスル部類ヲ指定スヘシ

指定スヘキ部類ハ左ノ如シ

第一部甲類 英語法科、經濟科、政治科

第一部乙類 英語文科

第一部丙類 独語法科、独語文科

第一部丁類 仏語法科、仏語文科

第二部甲類 工科

第二部乙類 農科、理科、医科ノ内薬学科

第三部 医科

入学志望者ハ志望類二個以上（同一部内ノ類ニ限ル）ヲ併セ指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ其志望類ノ順位ヲ定ムヘシ

第六条 選抜試験ヲ受ケタルモノハ之ヲ第一部第二部及第三部ノ三部ニ分類シ其ノ試験ノ成績順ニ依リ各高等学校ニ於テ各部募集ノ総員ト同数ノ人員ヲ選出シ其ノ内ニ就キ左ノ方法ニ依リ入学セシムヘシ

一、選抜試験成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ配当ス

二、第一号ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

- 三、第一号第二号ニ依リ配当ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類已ニ満員トナリ配当スルコトヲ得サルモノニ就テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニシテ欠員アルモノニ配当ス
  - 四、第三号ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順位ニ依ル
  - 五、第三号ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順序相同シキトキハ抽籤ニ依ル
  - 六、前番号ニ依リ配当ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク満員トナリタルトキハ入学スルヲ得サルモノトス
- 前項ニ依リ配当ノ結果又ハ事故ノ為入学者ニ欠員ヲ生シタルトキハ前項選出人員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填スヘシ

一三、外国語分割教授法ノ成績ニ関スル意見

- (イ) 分割教授ヲ第一学年ニ於テ時間ヲ増加シ継続スルノ可ナルヲ認ムルモノ  
第三高等学校
- (ロ) 分割教授ヲ継続スルノ否ナルヲ認ムルモノ  
第一高等学校 第二高等学校 第四高等学校 第五高等学校  
第六高等学校 第七高等学校造士館 第八高等学校

一四、外国語分割ノ方法ヲ左ノ如ク定メ試ニ一個年間実施セントス

部名	一部甲乙		一部丙		一部丁		二部甲乙		三部(英)	
	英	独	独	英	仏	英	英	独	独	英
現行規程ニ依ル時間数	9	9	14	4	14	4	8	8	13	3
分割ニ依ル時間数	7	7	11	4	11	4	6	6	11	3

- 一、第一学年ニ限り施行スヘシ
- 二、三部(英)、一部(丙丁)ノ中少クトモ一組ニ施行スヘシ
- 三、一部(甲乙)、二部(甲乙)ノ中少クトモ二組ニ施行スヘシ
- 四、一部(甲乙)、二部(甲乙)ノ中各組ニ於テ外国語ノミニツキ施行スルコトヲ得
- 五、一部(丙丁)ノ英語及三部(英)ノ英語ニハ分割教授ヲ施行セス

右議決仕り候也

明治四十二年四月

各高等学校長連署

文部大臣宛

4. 1910年5月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1910年、文部省は5月9日～5月16日の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>33)</sup>。日程の詳細は未詳である。

## (1) 諮問事項

諮問事項は8件あり<sup>34)</sup>、そのうち4件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験期日、試験科目並試験問題提出等ニ関スル見込
- 一、選抜試験学科目ヲ一、二、三部志望者ニ通シテ同一トスルノ可否
- 一、従来選抜試験成績ニ依リ合格不合格ヲ決定スルニハ単ニ総評点数ノ多寡ヲ以テ其ノ標準トセシモ総評点ノ多寡ヲ考フルト同時ニ各科目評点ニ対シテ最小限ヲ定メテ之ヲ顧慮シテ合格不合格ヲ決定スルコト、スルノ可否並其ノ最少限標準ニツキテノ意見
- 一、昨年外国語分割教授法修正実施後ノ成績並ニ之ニ対スル将来ノ意見
- 一、高等学校各科目教授統一ニ関スル方法ニツキテノ意見
- 一、高等学校ノ各科目ニツキ成ルヘク教科書ヲ選定シテ之ヲ使用スルコト、シ且各高等学校ノ間ニ教科書ヲ一定スルノ可否。若シ之ヲ可トセハ其ノ選定ニ関スル方法如何
- 一、中学校ノ優良卒業者ヲ特殊ナル高等学校（例令第一及第三高等学校ヲ省キタル自余ノ高等学校）ニ若干名ヲ限リ特殊ナル部類（例令文科、理科ノ如キ）ニ無試験入学ヲ許可スルノ可否。若シ之ヲ可トセハ無試験入学ヲ許可スヘキ標準如何

## (2) 決議事項

決議事項は9件あり<sup>35)</sup>、すべて入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、東北農科大学予科及第七高等学校造士館ハ各自他ノ学校ニ先ンシ入学者選抜試験ヲ施行シ他ノ七個高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校（第七ヲ除ク）一定ニスル事
- 三、第七高等学校造士館ハ試験問題ヲ選定シ文部省ノ審査ヲ受クルコト
- 四、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二、三科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト
- 五、入学者選抜試験学科目ヲ左ノ如ク定ム  
国語、漢文、外国語、数学（代数、幾何、三角法）、歴史（日本歴史、東洋歴史、西洋歴史）、物理
- 六、各科目満点  
一、国語及漢文（二〇〇）、一、外国語（二〇〇）、一、数学（二〇〇）、  
一、歴史（一〇〇）、一、物理（一〇〇）  
一、一学科目ノ得点満点ノ四分ノ一ニ達セザル者ハ其選ヲ後ニスルコト
- 七、試験日取  
七月十一日 国漢（三時間）  
全 十二日 代数（二時間）

- 全 十三日 英語 (三時間)
- 全 十四日 歴史、物理 (三時間)
- 全 十五日 幾、三 (三時間半)

八、各科ノ問題数及点数等

- 数学 一、代数 四問 各二十点宛
  - 一、幾何 三問、三角 三問 各二十点宛
- 歴史 四問 (日本一問、西洋一問、東洋一問、和漢洋人名、地名一問) 各二十五点
- 物理 四問 (其内一問ハ簡易ナル計算問題ヲ出シ之ヲ四十点トシ、他ノ三問ハ各二十点トス)
- 国語及漢文 一、擬古文ヲ避ケルコト
  - 一、国文解釈 一問 (三十五点)
  - 一、漢文解釈 一問 (三十五点)
  - 一、書取 一題 (三十点)
  - 一、作文 二題 (百点) 普通文一ツ、書牘文一ツ (発信人ニ対スル受信人ノ関係ヲ明記シテ出題スルコト)
    - 作文ニテ文法、字画ニツキテモ考査スルコト
- 英語 一、解釈文ハ成ルヘク長ク且平易ナル文章ヲ選フベキコト
  - 一、文法ハ応用ヲ主トスヘキコト
  - 一、解釈 四問 各二十点 八十点
  - 一、英訳 三問 各二十点 六十点
  - 一、文法 三問 各十点 三十点
  - 一、書取 三十点

九、選抜試験問題分担

	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
国漢								
外国語								
数学								
歴史								
物理								

- 一、各学校ヨリ提出ノ期限ヲ六月五日迄トス
- 一、提出問題ニハ成ルヘク出所ヲ付記スルコト

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒ノ数

			第一高等	第二高等	第三高等	第四高等	第五高等	第六高等	第七高等	第八高等	通計
			学校								
第一部	甲類	英語法科、政治科、経済科、商業科	80	34	45	94	84	45	45	45	472
	乙類	英語文科	44	16	45	40	42	45	45	45	630
	丙類	独語法科、政治科、独語文科	44	47	45	40	42	45	45		
	丁類	仏語法科、政治科、仏語文科	44	—	45	—	—	—	—	89	
第二部	甲類	工科	68	42	90	42	84	45	45	90	506
	乙類	理科、農科、医科ノ内薬学科	34	92	45	40	42	45	45	45	388
第三部	医科		74	40	40	40	40	40	40	40	354
合計			388	271	355	296	334	265	265	265	2,439

備考

- 一、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ増減スルコトアルヘシ
- 二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ七十四人中凡ソ四十人ハ独語ヲ以テ選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

一、選抜試験科目

国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何、三角）、歴史、物理

備考

外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者ニ限り第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選抜試験ヲ受クルコトヲ得

一、選抜試験施行ノ期日

第七高等学校造士館 六月三日ヨリ六日マテ  
 其他ノ高等学校 七月十一日ヨリ十五日マテ

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得願スヘシ

明治四十三年五月 第一高等学校  
 第二高等学校  
 第三高等学校  
 第四高等学校  
 第五高等学校  
 第六高等学校  
 第八高等学校

- 一 入学ヲ出願スルハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者ニ限ル
- 二 出願締切期限マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ其資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其資格ヲ得タルトキハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ
- 三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年五月文部省告示第三百三十七号ヲ参看スヘシ
- 四 入学志望者ハ左ノ期限マテニ到達スル様入学志望者名票ニ検定料及写真(手札形半身脱帽、提出前六箇月以内ニ単身撮影シタルモノ、裏面ニハ第一志望部類氏名ヲ記入スヘシ)ヲ添へ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ其用紙ハ各高等学校ニ於テ之ヲ交付ス郵券二銭ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘシ  
出願締切期限来ル六月十五日限
- 五 出願受理場所 各当該学校
- 六 検定料ハ金五円トス現金(持参セサル者ハ名票、写真ト共ニ現金ヲ封入シ価額表記書留郵便ト為スヘシ)送付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 七 第一、第五及第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ入学志望者名票持参ノ際受験証票ヲ受領シ同時ニ諸事承合スヘシ但シ入学志望者名票ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票受驗人心得等ヲ送付スヘキニ付キ郵券三銭封入右名票ヲ郵送スヘシ
- 八 第二乃至第六及第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ左ノ期日ニ於テ次項ノ受験場所ニ出頭シ諸事承合スヘシ  
七月七日 午前八時ヨリ午後三時マテ
- 九 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校
- 十 体格検査施行ノ日  
第一高等学校 学科、試験終了後別ニ通知ス  
第二及第五高等学校 七月九日、十日  
第三、第四及第八高等学校 同八日ヨリ十日マテ  
第六高等学校 同八日、九日
- 十一 選抜試験施行ノ日  
各高等学校  
国語及漢文 七月十一日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
数学(代数) 同十二日 午前八時ヨリ同十時マテ  
外国語 同十三日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史、物理 同十四日 同  
数学(幾何、三角) 同十五日 午前八時ヨリ同十一時半マテ

一、語学分割教授ノ状況

- 一、未タ分割強ノ利益ヲ収ムルニ至ラズト認ムルモ継続シテ試ミルニ異議ナキモノ  
第八
- 二、多少ノ利益アリト認ムルモ其利益顕著ナラストスルモノ  
第一、第四、第五、第七
- 三、利益顕著ナリト認ルモノ  
第二、第三、第六

一、外国語分割ノ方法ヲ左ノ如ク定メ試ニ一個年間実施セントス

部名	一部甲乙		一部丙		一部丁		二部甲乙		三部(英)	
	英	独	独	英	仏	英	英	独	独	英
現行規程ニ依ル時間数	9	9	14	4	14	4	7	7	13	3
分割ニ依ル時間数	7	7	11	4	11	4	6	6	11	3

- 一 第二学年ニ限り施行スヘシ
  - 二 三部（英）、一部（丙丁）ノ中少クトモ一組ニ施行スヘシ
  - 三 一部（甲乙）、二部（甲乙）ノ中少クトモ一組ニ施行スヘシ
  - 四 一部（甲乙）、二部（甲乙）ノ中各組ニ於テ一外国語ノミニツキ施行スルコトヲ得
  - 五 一部（丙丁）ノ英語及三部（英）ノ英語ニハ分割教授ヲ施行セス
  - 六 第一第三高等学校ハ専門学務局ヘ打合ノ上特別ノ取扱ヲ為スコト
- 右議決仕リ候也

明治四十三年五月

各高等学校長連署

文部大臣宛

5. 1911年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1911年、文部省は4月13日より10日間の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>36)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

(1) 諮問事項

諮問事項は5件あり<sup>37)</sup>、そのうち2件が入学者選抜試験に関する事項である。

- 一、修身教授要目ニ対スル意見及訓育ノ情况
- 一、無試験入学検定規程実施ノ成績
- 一、語学分割教授ノ成績
- 一、各学科目教授ノ統一ニ関スル意見
- 一、本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験期日、試験科目並ニ試験問題提出等ニ関スル件

(2) 決議事項

決議事項は13件あり<sup>38)</sup>、そのうち11件が入学者選抜試験に関わる事項である。

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校一定ニスルコト

三、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三学科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト

四、入学者選抜試験学科目ヲ左ノ如ク定ム

国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何）、歴史及地理、化学

五、各学科目満点

一、国語及漢文二〇〇、一、外国語二〇〇、一、数学二〇〇、一、歴史及地理一〇〇、一、化学一〇〇

六、各科ノ問題数及点数等

○国語及漢文 一、擬古文ヲ避クルコト

一、国文解釈 一問（四十点）

一、漢文解釈 一問（四十点）

一、書取 一題（四十点）

一、作文 二題（八十点） 普通文一、書牘文一（発信人ニ対スル受信人ノ関係ヲ明記スルコト）

作文ニテ文法、字画ニツキテモ考査スルコト

○外国語 一、解釈 四問 各二十点 八十点

一、英独仏訳 四問 各二十点 八十点

一、書取 四十点

一、解釈文ハ成ルヘク長ク且平易ナル文章ヲ選フヘキコト

○数学 一、代数 五問 各二十五点宛 百二十五点

一、幾何 三問 各二十五点宛 七十五点（平面二、立体一）

○歴史及地理 四問 各二十五点宛 百点

○化学 四問 各二十五点宛 百点

七、選抜試験学科目問題分担

学校別	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
国、漢								
外国語	独仏							
外国語								
数学								
歴史、地理								
化学								

一問題提出期限 五月二十日迄ニ発送

一成ルヘク国漢、英語問題ノ出所ヲ記入セラレタシ

八、各問題ニ点数ヲ付ケ置クコト

九、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数等ニ関スル文部省告示案

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数

			第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	通計
第一部	甲類	英語法律科、政治科、経済科、商科	80	35	45	94	84	45	45	45	750
	乙類	英語文科	44	16	45	40	42	45	45		
	丙類	独語法律科、政治科、独語文科	44	47	45	40	42	45	45	45	353
	丁類	仏語法律科、政治科、仏語文科	44		45						89
第二部	甲類	工科	68	47	90	42	84	45	45	90	511
	乙類	理科、農科、医科ノ内薬学科	34	92	45	40	42	45	45	45	388
第三部	医科		74	45	40	42	42	40	45	45	373
合計			388	282	355	298	336	265	270	270	2,464

備考

一、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ増減スルコトアルヘシ

二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ七十四人ノ中凡ソ四十人ハ独語ヲ以テ選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

一、選抜試験科目

国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何、三角）、歴史及地理、化学

備考

外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者ニ限り第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選抜試験ヲ受クルコトヲ得

一、選抜試験施行ノ期日

一、七月十一日ヨリ同月十五日マテ

十、生徒募集公告

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得願スヘシ

明治四十四年四月

第一高等学校

第二高等学校

第三高等学校

第四高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造士館

第八高等学校

- 一 入学ヲ出願スルハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者ニ限ル
- 二 出願締切期限マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ其資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其資格ヲ得タルトキハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ
- 三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年四月文部省告示第四百四十八号ヲ参看スヘシ
- 四 入学志望者ハ左ノ期限マテニ到達スル様入学志望者名票ニ検定料及写真（手札形半身脱帽、提出前六ヶ月以内ニ単身撮影シタルモノ、裏面ニハ第一志望部類氏名ヲ記入スヘシ）ヲ添ヘ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ其用紙ハ各高等学校ニ於テ之ヲ交付ス郵券式錢ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘシ  
出願締切期限 六月十五日
- 五 出願受理場所 各当該学校
- 六 検定料ハ金五円トス現金ヲ以テ納付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 七 入学志望者名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票、受験人心得等ヲ送付スヘキニ付キ名票、写真、検定料現金及郵券三錢ヲ封入シ価格表記郵便ヲ以テ郵送スヘシ
- 八 第二乃至第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ本年七月七日午前八時ヨリ午後三時マテノ間ニ於テ当該学校ニ出頭シ諸事承合スヘシ
- 九 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校
- 十 体格検査施行ノ日  
第一高等学校 選抜試験終了後別ニ通知ス  
第二乃至第八高等学校 七月八日、九日、十日
- 十一 選抜試験施行ノ日  
各高等学校  
国語及漢文 七月十一日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
数学（代数）同十二日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
外国語 同十三日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史及地理、化学 同十四日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
数学（幾何）同十五日 午前八時ヨリ同十時マテ
- 十一、無試験入学検定ニ関スル件  
無試験入学検定規程ハ継続施行スルヲ可トス。無試験入学検定ノ推薦ヲ指定学校卒業生ニ及ホス様規程ヲ改正セラレンコトヲ希望ス
- 十二、語学分割教授実施ノ成績

受持教官ニ依リ成績ヲ異ニスルヲ以テ未タ概括シテ意見ヲ定ムルニ至ラストスルモノ

第一

概シテ有効ナリトスルモノ

第二、第三、第八

多少ノ利益アリト認ムルモ其利益顕著ナラストスルモノ

第四、第五、第六、第七

外国語分割教授ノ方法ヲ左ノ如ク定メ仍ホ一箇年間試ニ実施セントス一年

	一部甲乙		一部丙		一部丁		二部甲乙		三部(英)	
	英	独	独	英	仏	英	英	独	独	英
現行規程ニ依ル時間数	9	9	14	4	14	4	8	8	13	3
分割ニ依ル時間数	7	7	11	4	11	4	6	6	11	3

二年

	一部甲乙		一部丙		一部丁		二部甲乙		三部(英)	
	英	独	独	英	仏	英	英	独	独	英
現行規程ニ依ル時間数	9	9	14	4	14	4	7	7	13	3
分割ニ依ル時間数	7	7	11	4	11	4	6	6	11	3

三年

	一部甲乙		一部丙		一部丁		三部(英)	
	英	独	独	英	仏	英	独	英
現行規程ニ依ル時間数	8	8	12	4	12	4	10	3
分割ニ依ル時間数	7	7	10	4	10	4	8	3

- 一 三部（英）、一部（丙丁）ノ中少クトモ一組ニ施行スヘシ
- 二 一部（甲乙）、二部（甲乙）ノ中少クトモ一組ニ施行スヘシ
- 三 一部（甲乙）、二部一二年（甲乙）ノ某ニ於テハ一外国語ノミニツキ施行スルコトヲ得
- 四 一部（丙丁）ノ英語、二部三年ノ外国語及三部（英）ノ英語ニハ分割教授ヲ施行セス

十三、学科目教授ノ統一ニ関スル事項

- 一、本年夏季休業中ニ於テ国語及漢文ノ担任教官ノ打合せ会ヲ召集セラレタキコト

6. 1912年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1912年、文部省は4月18日より10日間の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>39)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

(1) 諮問事項

諮問事項は6件あり<sup>40)</sup>、うち2件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- ・修身教授ニ関スル件及訓育ノ情況
- ・語学分割教授ニ関スル件
- ・無試験入学検定規程存否ニ関スル件
- ・本年度各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、試験科目及試験問題等ニ関スル件
- ・学校事務ノ簡捷ニ関スル件
- ・各高等学校間ニ打合ヲ必要トスヘキ事項ニ関スル件

## (2) 決議事項

1912年の決議事項は確認できていない。

## 7. 1913年5月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1913年、文部省は5月6日より5日間の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>41)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

### (1) 諮問事項

諮問事項は2件あり<sup>42)</sup>、ともに入学者選抜試験に関わる事項である。

- ・本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、試験学科目及問題等ニ関スル件
- ・入学者無試験検定ニ関スル件

### (2) 決議事項

決議事項は12件あり<sup>43)</sup>、そのうち11件が入学者選抜試験に関わる項目である。

- 一、東北帝国大学農科大学大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校一定ニスルコト
- 三、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三学科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト
- 四、入学者選抜試験科目ヲ左ノ如ク定ム  
第一部志望者ニ対シテハ  
国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何平面）、歴史及地理  
第二部第三部志望者ニ対シテハ  
国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何平面、三角法）、物理
- 五、各科目満点  
国語及漢文二〇〇、外国語二〇〇、数学(第一部一〇〇、第二、三部二〇〇)、

歴史及地理一五〇、物理一〇〇

六、各科目問題数及点数等

- 国語及漢文 一、国文解釈 二問（六〇）
  - 一、漢文解釈 二問（六〇）
  - 一、書取 一題（三〇）
  - 一、作文 一題（五〇） 文語体普通文
- 外国語 一、解釈（長キ問題）二問（八〇）
  - 一、英独仏訳（全上）二問（八〇）
  - 一、書取 一題（四〇） 試験官ノ注意書ヲ付セサルコト
- 数学 一部 二部、三部
  - 一、代数 三問（六〇） 四問（一〇〇）
  - 一、幾何平面 二問（四〇） 二問（五〇）
  - 一、三角法 二問（五〇）
  - 一部ハ二部、三部ト問題ヲ異ニスルコト
- 歴史及地理 一、歴史 四問（一〇〇）、一、地理 二問（五〇）
- 物理 四問（一〇〇）

七、試験問題選定担当割

	一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高
国語及漢文								
英語								
独仏語								
数学								
歴史及地理								
物理								

問題提出期限 五月二十五日迄ニ発送

成ルヘク国漢、英語問題ノ出所ヲ記入セラレタシ

八、各科目ニ其ノ満点数ヲ記入シテ印刷スルコト

九、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数等ニ関スル文部省告示案

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数

			第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	通計
第一部	甲類	英語法律科、政治科、経済科、商科	80	40	40	80	80	40	40	40	665
	乙類	英語文科	40		40	35	35	40	35		
	丙類	独語法律科、政治科、独語文科	40	40	40	40	40	40	40	40	320
	丁類	仏語法律科、政治科、仏語文科	40		35						75

第二部	甲類	工科	68	40	80	40	80	40	40	80	468
	乙類	理科、農科、医 科ノ内薬学科	30	70	40	35	35	40	40	40	330
第三部	医科		74	40	40	40	40	40	40	40	354
合計			372	230	315	270	310	240	235	240	2,212

備考

- 一、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ減スルコトアルヘシ
- 二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ七十四人ノ中凡ソ四十人ハ独語ヲ以テ  
選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

一、選抜試験科目

国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、外国語（解釈、国文英独  
仏訳、書取）、数学（第一部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面、第二部  
並第三部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面、三角法）、歴史及地理（第  
一部入学志望者ニ限ル）、物理（第二部並第三部入学志望者ニ限ル）

備考

外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者  
ニ限り第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選  
抜試験ヲ受クルコトヲ得

一、選抜試験施行ノ期日

- 一、七月十一日ヨリ同月十四日マテ

十、生徒募集公告

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得願スヘシ

- 大正二年五月
- 第一高等学校
- 第二高等学校
- 第三高等学校
- 第四高等学校
- 第五高等学校
- 第六高等学校
- 第七高等学校造士館
- 第八高等学校

- 一 入学ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者  
ニ限ル
- 二 出願締切期限マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ  
其ノ資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其資格ヲ得タルトキ  
ハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ
- 三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年五月文部省告示第百二十九号ヲ参看

スヘシ

- 四 入学志望者ハ左ノ期限マテニ到着スル様入学志望者名票ニ検定料及写真（手札形半身脱帽、提出前六箇月以内ニ単身撮影シタルモノ、裏面ニハ第一志望部類氏名ヲ記入スヘシ）ヲ添ヘ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ其ノ用紙ハ各高等学校ニ於テ之ヲ交付スヘキニ付郵券二銭ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘシ
- 五 出願締切期限 六月十五日
- 六 出願受理場所 各当該学校
- 七 検定料ハ金五円トス現金ヲ以テ納付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 八 入学志望者名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票、受験人心得等ヲ送付スヘキニ付名票、写真、検定料現金及郵券三銭ヲ封入シ価格表記郵便ヲ以テ送致スヘシ但シ第八高等学校入学志望者ニ限り名票、写真、返信用封筒（自己ノ宿所宛名ヲ詳細ニ記入セルモノ）及郵券二銭ヲ封入シ書留郵便ヲ以テ送致シ同時ニ検定料ヲ郵便振替貯金（大阪二〇四七四番第八高等学校）ニ払込ムヘシ
- 九 第二乃至第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ本年七月七日午前八時ヨリ午後三時マテノ間ニ於テ当該学校ニ出頭シ諸事承合スヘシ
- 十 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校
- 十一 体格検査施行ノ日  
第一高等学校 選抜試験終了後別ニ通知ス  
第二乃至第八高等学校 七月八日、九日、十日
- 十二 選抜試験施行ノ日時  
各高等学校  
国語及漢文 七月十一日 午前八時ヨリ同十一時三十分マテ  
数学（代数、幾何）同十二日 午前八時ヨリ同十一時三十分マテ  
外国語 同十三日 午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史及地理、数学（三角法）物理 同十四日 午前八時ヨリ同十一時マテ
- 十一、入学者無試験検定ノ件ハ本年ハ従来ノ通トシ明年以後ハ学校ニ依リ或ハ従来ノ通施行スルモノモアルヘク、又或部ニ限り之ヲ施行シ又ハ全ク之ヲ施行セサルモノモアルヘク、各学校随意トスルコト
- 十二、主任教官打合会ハ本年ハ之ヲ見合スコト

## 8. 1914年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1914年、文部省は4月27日より5日間の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>44)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

## (1) 諮問事項

諮問事項は6件あり<sup>45)</sup>、そのうち1件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、訓育ノ情況
- 一、本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、学科目及問題等ニ関スル件
- 一、教科書選定ニ関スル件
- 一、第三部卒業者ノ医学科志望者配当方法ニ関スル件
- 一、第二部乙類卒業者ノ農科大学進入ニ関スル件
- 一、学年開始期ノ変更及其ノ施行期日

## (2) 決議事項

決議事項は12件あり<sup>46)</sup>、そのうち11件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、東北帝国大学農科大学大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校一定ニスルコト
- 三、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト
- 四、入学者選抜試験科目ヲ左ノ如ク定ム
  - 第一部志望者ニ対シテハ
    - 国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何平面）、歴史及地理
  - 第二部並第三部志望者ニ対シテハ
    - 国語及漢文、外国語、数学（代数、幾何平面及立体、三角法）、化学
- 五、各科目満点数
  - 国語及漢文二〇〇、外国語二〇〇、数学（第一部一〇〇、第二、三部二〇〇）、歴史及地理一五〇、化学一〇〇
- 六、各科目問題数及点数等
  - 国語及漢文
    - 一、国文解釈 二問（六〇）
    - 一、漢文解釈 二問（六〇）
    - 一、書取 一題（三〇）
    - 一、作文 一題（五〇）文語体普通文
  - 外国語
    - 一、解釈（長キ問題）二問（八〇）
    - 一、英独仏訳（全上）二問（八〇）
    - 一、書取 一題（四〇）試験官ノ注意書ヲ付セサルコト
  - 数学
    - 一部 二部、三部
    - 一、代数 三問（六〇） 四問（一〇〇）
    - 一、幾何 平面二問（四〇） 平面二問（五〇）、立体一問（二五）

一、三角法 一問（二五）

二部、三部ノ代数四問中三問及平面幾何二問ハ一部ト同問題トスルコト

○歴史及地理 一、歴史 四問（一〇〇）、一、地理 二問（五〇）

○化学 四問（一〇〇）

七、試験問題選定担当割

	一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高
国語及漢文		○	○		○			
英語				○	○			○
独仏語	○							
数学				○			○	○
歴史及地理		○	○			○		
化学	○					○	○	

問題提出期限 五月二十五日迄ニ発送

国語及漢文、英語ノ試験問題ハ成ルヘク其ノ出所ヲ記入スルコト

八、各小科目ニ其満点数ヲ記入シテ印刷スルコト

九、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数等ニ関スル文部省告示案

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数

			一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高	通計
第一部	甲類	英語法律科、政治科、経済科、商科	80	40	40	80	80	40	40	40	665
	乙類	英語文科	40		40	35	35	40	35		
	丙類	独語法律科、政治科、独語文科	40	40	40	40	40	40	40	40	320
	丁類	仏語法律科、政治科、仏語文科	40		35						75
第二部	甲類	工科	68	40	80	40	80	40	40	80	468
	乙類	理科、医科ノ内薬学科	10	30	19	15	15	19	19	19	146
	丙類	農科	20	40	21	20	20	21	21	21	184
第三部	医科	74	42	40	42	42	42	42	42	366	
合計			372	232	315	272	312	242	237	242	2,224

備考

- 一、従来理科、農科及医科ノ内薬学科志望者ハ共ニ第二部乙類トシテ入学セシメタルモ本年ヨリ理科及医科ノ内薬学科志望者ハ乙類、農科志望者ハ丙類トシテ入学セシム
- 二、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ減スルコトアルヘシ
- 三、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ七十四人ノ中凡ソ四十人ハ独語ヲ以テ選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

一、選抜試験科目

国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、外国語（解釈、国文英独  
仏訳、書取）、数学（第一部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面、第二部  
並第三部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面及立体、三角法）、歴史及地  
理（第一部入学志望者ニ限ル）、化学（第二部並第三部入学志望者ニ限ル）

備考

外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者  
ニ限り第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選  
抜試験ヲ受クルコトヲ得

一、選抜試験施行ノ期日

一、七月十一日ヨリ同月十四日マテ

一、第一及第三高等学校ニ於テハ無試験検定ヲ行ハス

十、生徒募集公告

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得出願スヘシ

大正三年五月	第一高等学校
	第二高等学校
	第三高等学校
	第四高等学校
	第五高等学校
	第六高等学校
	第七高等学校造士館
	第八高等学校

一 入学ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者  
ニ限ル

二 出願締切期限マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ  
其資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其資格ヲ得タルトキ  
ハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ

三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年五月文部省告示第九十一号ヲ見ルヘ  
シ

四 入学志望者ハ締切期限マテニ到着スル様入学志望者名票ニ検定料及写真（手札  
形半身脱帽、提出前六箇月以内ニ单身撮影シタルモノニシテ裏面ニハ第一志望  
部類氏名ヲ記入シタル）ヲ添ヘ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ其用紙ハ各高等学  
校ニ於テ之ヲ交付スヘキニ付郵便切手二銭ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘ  
シ

五 出願締切期限 来ル六月十五日

六 出願受理場所 各当該学校

- 七 検定料ハ金五円トス現金ヲ以テ納付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 八 第一、第二、第五、第六高等学校及第七高等学校造士館入学志望者ニシテ名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票、受験人心得等ヲ送付スヘキニ付名票、写真、検定料現金及郵便切手三銭ヲ封入シ価格表記郵便ヲ以テ送致スヘシ  
第三、第四及第八高等学校入学志望者ニシテ名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ハ先ツ検定料ヲ郵便振替貯金  
第三高等学校 大阪二一三六八番  
第四高等学校 東京二七八七一番  
第八高等学校 大阪二〇四七四番  
ニ払込ミ其ノ受領票ヲ名票、写真及返信用封筒（自己ノ宿所宛名ヲ詳細ニ記入シ郵便切手三銭ヲ貼付セル）ト共ニ封入シ書留郵便ヲ以テ送致スヘシ
- 九 第一乃至第六高等学校又ハ第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ本年七月七日午前八時ヨリ午後三時マテノ間ニ於テ当該学校ニ出頭シ諸事承合スヘシ  
但シ第七高等学校造士館ニ入学ヲ志望スル者ハ前項ノ日時ニ当該学校若クハ文部省ニ出頭シ諸事承合スヘシ
- 十 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校  
但シ第七高等学校造士館ニ限り当該学校及東京
- 十一 体格検査施行ノ日  
七月八日、九日、十日  
第一高等学校ニ於テハ従来選抜試験終了後体格検査ヲ施行セルモ本年ヨリ本文ノ期日ニ於テ之ヲ施行ス
- 十二 選抜試験施行ノ日時  
国語及漢文 七月十一日（土曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
数学（代数、平面幾何）同十二日（日曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
外国語 同十三日（月曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史及地理、数学（立体幾何、三角法）、化学 同十四日（火曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ
- 十三 第一及第三高等学校ニ於テハ無試験検定ヲ行ハス
- 十一、東京農科大学ノ収容力ヲ農学科五〇人農芸化学科三五人林学科四〇人獣医学科一〇人水産学科七人合計一四二人ト予定シテ本年以降高等学校第二部丙類ノ生徒ヲ募集スルコト  
本年以後高等学校第二部丙類ニ入学セルモノニシテ卒業後東京農科大学ニ進入ヲ希望スル者ノ数同大学ノ収容数ニ超過スルトキハ同大学ニ於テ競争試験ヲ行フコト

- 十二、第二部甲類及丙類ヨリ乙類へ転科スルコトヲ得ルモノトス
- 十三、現第二部甲類ヨリ現第二部乙類（理科ヲ除ク）へ転科ヲ許サ、ルコト
- 十四、八月月上旬文部省ニ於テ独語主任教官及図画測量主任教官打合会ヲ開カレタキコト
- 十五、高等学校学年開始期九月ヲ四月ニ変更スルモノトシ且ツ右変更ノコトハ本年九月新学年開始期以前ニ決定セラル、モノトセハ旧制ニ依ル生徒ト新制ニ依ル生徒トノ重複ヲ避ケ之ヲ実施スル方法トシテハ左案ニ依ルコト、シ其実施ヲ明後年度ヨリトセラレンコトヲ望ム

#### 案

- 一、現在ノ大学及高等学校在學生ニ対シ各学年ヲ三ヶ月短縮シ七月ニ卒業又ハ進級スヘキモノヲ三月ニ卒業又ハ進級セシムルモノトス
- 十六、大学予科第三部卒業者ヲ医科大学医学科ニ入学セシムル方法ヲ左ノ如ク改メ事情ノ許ス限り大正四年ヨリ実施セラレタシ
  - 一、卒業者ヲシテ其ノ入学セントスル大学ノ志望順位ヲ指定セシム但シ各自第二志望以下ヲ欠クコトヲ許サス
  - 二、某医科大学ニ対スル第一志望者数其ノ収容予定数ニ超過セサル場合ニハ之ヲ其ノ大学ニ入学セシム
  - 三、某医科大学ヲ第一志望トスル者ノ数其ノ大学ノ収容予定数ニ超過スル場合ニハ文部省ニ於テ競争試験ヲ行ヒ其ノ成績順ニ依リ第一志望ノ医科大学ニ入学セシム
  - 四、前項ノ結果第一志望ノ大学ニ入学セサル者ハ、成績順ニ依リ欠員アル第二志望ノ大学ニ入学セシメ其ノ大学ニ欠員ナキ場合ニ於テハ第三志望ノ大学ニ入学セシム
  - 五、第四志望ヲ指定セシムル時期ニ至リタルトキハ前四項ニ準シ之ヲ取扱フ

### (3) 協議事項

協議事項は7件あり<sup>47)</sup>、そのうち1件が入学者選抜試験に関わる項目である。

- 一、大喪第二期以後ニ於テ運動会ヲ施行スルコトハ各校随意ノコト
- 一、大学予科入学者選抜試験ニ関スル教官意見書ハ本年ハ其提出ヲ見合スコトヲ希望ス
- 一、徴兵猶予ニ関スル事務上ニ付別紙ノ通文部大臣ニ建議書ヲ提出スルコト
- 一、徴兵事務条例ニ依リ下付スヘキ生徒ノ在学証明書ハ従来生徒ニ交付セルモ、之ヲ直接市町村長ニ交付スル様改正ヲ希望ス
- 一、高等学校大学予科学力検定ニ関スル申合せ事項
  - 一、受験セントスル学校ハ受験者ノ随意トス
  - 一、総平均六十点以上ノ成績ヲ得タルモノニシテ学力検定試験ニ及第セサル者ニ対

シテハ其ノ受験科目中七十点以上ノ科目ニ限り其ノ効力ヲ保留ス

- 一、高等学校以外ノ直轄諸学校卒業者ニシテ本検定ヲ願出タル場合ハ当該学校ニ於テ履修シタル学科ノ授業時数（各学年ヲ合計シテ）ニシテ高等学校当該学科ノ授業時数ト同等又ハ其ノ以上ナルトキハ其ノ科目ニ限り試験ヲ行ハサルコトヲ得

右協議決定仕候也

大正三年五月

第一高等学校長 瀬戸虎記

第二高等学校長 三好愛吉

第三高等学校長 酒井佐保

第四高等学校長 溝渕進馬

第五高等学校長 吉岡郷甫

第六高等学校長 金子銓太郎

第七高等学校造士館長 吉田賢龍

第八高等学校長 大島義修

東北帝国大学農科大学予科主任教授 渡辺又次郎

文部大臣法学博士一木喜徳郎殿

## 9. 1915年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1915年、文部省は4月12日より6日間の日程で文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>48)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

### (1) 諮問事項

諮問事項は2件あり<sup>49)</sup>、そのうち1件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- ・本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、学科目及問題等ニ関スル件
- ・高等学校大学予科第三部卒業者中医学科志望者ノ医科大学進入ニ関スル件

### (2) 決議事項

決議事項は11件あり<sup>50)</sup>、そのうち10件が入学者選抜試験に関わる事項である。

- 一、東北帝国大学農科大学大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校一定ニスルコト
- 三、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三学科目ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト

四、入学者選抜試験科目ヲ左ノ如ク定ム

第一部志望者ニ対シテハ

国語及漢文、外国語、数学(代数、幾何平面)、歴史及地理

第二部並第三部志望者ニ対シテハ

国語及漢文、外国語、数学(代数、幾何平面立体)、物理、動物

五、各科目満点数

国語及漢文二〇〇、外国語二〇〇、数学(第一部一五〇、第二、三部二〇〇)、  
歴史及地理一五〇、物理一〇〇、動物五〇

六、各科目問題数及点数等

○国語及漢文 一、国文解釈 二問(六〇)

一、漢文解釈 二問(六〇)

一、書取 一題(三〇)

一、作文 一題(五〇) 文語体普通文

○外国語 一、解釈(長キ問題)二問(八〇)

一、英独仏訳(全上)二問(八〇)

一、書取 一題(四〇) 試験官ノ注意書ヲ付セサルコト

○数学 一部 二部、三部

一、代数 四問(一〇〇) 五問(一二五)

一、幾何 平面二問(五〇) 平面二問(五〇)、立体一問(二五)

二部、三部ノ代数五問中四問及平面幾何二問ハ一部ト同問題トスルコト

○歴史及地理 一、歴史 四問(一〇〇)、一、地理 二問(五〇)

○物理 四問(一〇〇)

○動物 二問(五〇)

七、試験問題選定担当割

	一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高
国語及漢文				○		○		○
英語		○	○				○	
独仏語	○							
数学		○	○			○		
歴史及地理				○			○	○
物理		○	○		○			○
動物	○			○	○			

問題提出期限 五月十五日迄ニ発送

国語及漢文、英語ノ試験問題ハ成ルヘク其出所ヲ記入スルコト

八、各小科目ニ其満点数ヲ記入シテ印刷スルコト

九、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数等ニ関スル文部省告示案

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数

			一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高	通計
第一部	甲類	英語法律科、政治科、経済科、商科	80	42	40	80	80	40	40	42	669
	乙類	英語文科	40		40	35	35	40	35		
	丙類	独語法律科、政治科、独語文科	40	40	40	40	40	40	40	40	320
	丁類	仏語法律科、政治科、仏語文科	40		35						75
第二部	甲類	工科	68	40	80	40	80	40	40	80	468
	乙類	理科、医科ノ内 薬学科	10	30	20	15	15	19	19	19	147
	丙類	農科	20	40	21	20	20	21	21	21	184
第三部	医科	80	45	42	45	45	45	45	45	392	
合計			378	237	318	275	315	245	240	247	2,255

## 備考

- 一、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ減スルコトアルヘシ
- 二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ八十人ノ中凡ソ半数ハ独語ヲ以テ選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

## 一、選抜試験科目

国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、外国語（解釈、国文英独仏訳、書取）、数学（第一部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面、第二部並第三部入学志望者ニ対シテハ代数、幾何平面及立体）、歴史及地理（第一部入学志望者ニ限ル）、物理（第二部並第三部入学志望者ニ限ル）、動物（第二部並第三部入学志望者ニ限ル）

## 備考

外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者ニ限リ第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選抜試験ヲ受クルコトヲ得

## 一、選抜試験施行ノ期日

- 一、七月十一日ヨリ同月十四日マテ

## 一、第一及第三高等学校ニ於テハ無試験検定ヲ行ハス

## 十、生徒募集公告

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得出願スヘシ

- |        |        |
|--------|--------|
| 大正四年四月 | 第一高等学校 |
|        | 第二高等学校 |
|        | 第三高等学校 |
|        | 第四高等学校 |
|        | 第五高等学校 |

第六高等学校

第七高等学校造士館

第八高等学校

- 一 入学ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者ニ限ル
- 二 出願期間満了マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ其資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其資格ヲ得タルトキハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ
- 三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年四月文部省告示第九十号ヲ見ルヘシ
- 四 入学志望者ハ出願期間中ニ到着スル様入学志望者名票ニ検定料及写真(手札形半身脱帽、提出前六箇月以内ニ单身撮影シタルモノニシテ裏面ニハ第一志望部類氏名ヲ記入シタル)ヲ添ヘ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ其用紙ハ各高等学校ニ於テ之ヲ交付スヘキニ付郵便切手弍銭ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘシ
- 五 出願期間 六月十五日迄  
但シ第一高等学校ニ限り六月一日ヨリ六月十五日迄
- 六 出願受理場所 各当該学校
- 七 検定料ハ金五円トス現金ヲ以テ納付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 八 入学志望者ニシテ名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票、受験人心得等ヲ送付スヘキニ付名票、写真、検定料現金及返信用封筒(自己ノ宿所宛名ヲ詳細ニ記入シ郵便切手参銭ヲ貼付セル)ト共ニ封入シ価格表記ヲ以テ送致スヘシ
- 九 第一乃至第六高等学校又ハ第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ本年七月七日午前八時ヨリ午後三時マテノ間ニ於テ当該学校ニ出頭シ諸事承合スヘシ  
但シ第七高等学校造士館ニ入学ヲ志望スル者ハ前項ノ日時ニ当該学校若クハ文部省ニ出頭シ諸事承合スヘシ
- 十 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校  
但シ第七高等学校造士館ニ限り当該学校及東京
- 十一 体格検査施行ノ日  
七月八日、九日、十日
- 十二 選抜試験施行ノ日時  
国語及漢文 七月十一日(日曜日)午前八時ヨリ同十一時マテ  
数学 同十二日(月曜日)午前八時ヨリ同十一時三十分マテ  
外国語 同十三日(火曜日)午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史及地理、物理、動物 同十四日(水曜日)午前八時ヨリ同十一時マテ

十三 第一及第三高等学校ニ於テハ無試験検定ヲ行ハス

十一、高等学校大学予科第三部卒業者中医学科志望者ノ医科大学進入ニ関スル件

一、高等学校大学予科第三部卒業者ハ他ノ部類ト同様各自志望ノ医科大学ニ入学願ヲ提出スルコト

一、入学志望者ノ数医科大学ニ収容スヘキ人員ヲ超過シタル〔ト〕キハ其ノ大学ニ於テ入学競争試験ヲ施行スルコト

一、競争試験ノ結果入学スルコトヲ得サル者ニシテ翌年以後其ノ大学ニ入学セントスル場合ニ於テ入学志望者ノ数其ノ収容数ニ超過スルトキハ更ニ競争試験ヲ受クルコトヲ要ス

一、毎年八月三十一日マテハ収容シ得ヘキ数ニ充ツルマテ入学ヲ許可スルコト（九州帝国大学）

一、本件ハ大正五年度ヨリ施行ノコト

### (3) 協議事項

協議事項は14件あり<sup>51)</sup>、そのうち5件が入学者選抜試験に関わる事項である。

一、八月上旬文部省ニ於テ英語主任教官打合会ヲ、同月下旬修身論理及心理主任教官打合会ヲ開カレタキコト

二、本年ノ第三部卒業者中医学科志望者ノ配当ニハ東北帝国大学医科大学ヲモ志望スルコトヲ得セシムル様規定改正セラレタキコト

三、東北帝国大学医科大学医学科入学ニ関スル希望

(1) 東北帝国大学医科大学医学科ニ於テ第三部卒業者ヲ収容シタル後欠員アル場合ニ於テハ第二部乙類卒業者ニシテ動物及植物ヲ履修シタルモノニ限り検定ノ上入学ヲ許可セラル、コト

(2) 検定ノ科目ハ独逸語ノミニ止メラル、コト

(3) 検定試験ヲ行フ場所ハ各高等学校トセラル、コト

(4) 羅匈語ヲ履修セサルモノニ対シテハ大学入学後ニ於テ学習セシメラル、コト

(5) 検定ノ成績ハ東京帝国大学農科大学入学者配当以前ニ決定スル様運ハル、コト

(6) 本件ニ関シテハ詮議決定ノ上ハ成ルヘク速ニ通知セラル、コト

四、本年高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数中第三部ニハ志那人ヲ含ミ第一部及第二部ニハ之ヲ含マサルコト

五、第一高等学校予科ヲ卒業セル志那留学生ハ今後配当前各高等学校ニ照会スルコトヲ略シ七月十五日迄ニ本省ヨリ直ニ各高等学校ニ配当スルコト

六、入学者選抜試験問題中、国語書取、作文及外国語書取ハ二問宛ヲ出題スルコト

七、入学者選抜試験問題ハ已往五ヶ年間ニ於テ直轄学校入学試験ニ出題セサルモノヲ選フコト

八、本年ハ入学者選抜試験報告書ヲ提出スルコト

- 九、入学者ヲ官報ニ発表スルニハ族称ヲ略スルコト
- 十、明年九月以後ハ入学者ヲ五十音順ニテ発表スルコト  
本件ハ高等学校以外ノ直轄学校ヘ交渉方専門学務局ニ依頼スルコト
- 十一、高等学校教官ニシテ昨年文部省視学委員タリシ者ハ本年モ引続キ視学委員ニ任命ノコト  
視察ヲ希望スル地方ハ予メ文部省ニ申出テ九月ヨリ十二月ノ間ニ於テ約二週間便宜視察スルコト
- 十二、東京帝国大学工科大学ノ海軍委託生ハ従来大学ニ入学後海軍省ヨリ造船、造兵、冶金、火薬学科ノ学生中ヨリ募集シ来リシガ、今後、高等学校第二部甲類第三学年生中ヨリ第二学期ノ初ニ於テ募集スルコト（体格検査ハ海軍省ヨリ各高等学校ニ検査官ヲ派遣シテ之ヲ行ヒ学科試験ハ海軍省又ハ東京帝国大学工科大学ニ於テ問題ヲ選定シ各高等学校ニ委託スルコト
- 十三、明治神宮神苑献木ニ関スル件  
(イ) 出金額、校長二円、職員之ニ準ス、生徒一人十銭宛  
(ロ) 集金期限十月末日  
(ハ) 集金ノ上ハ第一高等学校長ニ送金スルコト  
(ニ) 樹木ノ選定植付方等ニ就テハ専門学務局ヨリ東京帝国大学農科大学ニ依頼セラレタキコト
- 十四、青島及南洋ニ修学旅行ノ件  
第一高等学校長ハ文部省ト協議ノ上陸軍省及海軍省ト交渉シ其ノ結果ヲ直接同校長ヨリ各高等学校長ニ通知スルコト

## 10. 1916年4月開催の高等学校長会議の諮問事項と決議事項

1916年、文部省は4月28日より文部省を会場に高等学校長会議を開催した<sup>52)</sup>。閉会日および日程の詳細は未詳である。

### (1) 諮問事項

諮問事項は2件あり<sup>53)</sup>、ともに入学者選抜試験に関わる。

第一諮問 本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、学科目及問題等ニ関スル件

第二諮問 外国人特別入学規程ニ依リ入学ヲ許可セラレタル者ノ取扱方ニ関スル件

### (2) 決議事項

決議事項は12件<sup>54)</sup>あり、すべて入学者選抜試験に関わる事項である。

第一諮問 本年各高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数、選抜試験ノ期日、学科目及問題

等ニ関スル件

- 一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト
- 二、入学者選抜試験問題ハ各高等学校一定ニスルコト
- 三、各高等学校ニ於テハ文部省ノ指定ニ依リ二三科ノ試験問題ヲ選定シ文部省ハ之ヲ纏メテ審査決定スルコト
- 四、入学者選抜試験科目ヲ左ノ如ク定ム
  - 第一部志望者ニ対シテハ
    - 国語及漢文、外国語、数学（代数、平面幾何）、歴史
  - 第二部並第三部志望者ニ対シテハ
    - 国語及漢文、外国語、数学（代数、平面幾何、三角法）、化学
- 五、各科目満点数
  - 国語及漢文二〇〇、外国語二〇〇、数学（第一部一五〇、第二、三部二〇〇）、歴史一〇〇、化学一〇〇
- 六、各科目問題数及点数等
  - 国語及漢文
    - 一、国文解釈 三問（六〇）
    - 一、漢文解釈 三問（六〇）
    - 一、書取 一題又ハ二題（三〇）
    - 一、作文 一題（五〇）文語体普通文
  - 外国語
    - 一、解釈（長キ問題）四問（一〇〇）
    - 一、英独仏訳 二問（六〇）
    - 一、書取 一題（四〇）試験官ノ注意書ヲ付セサルコト
  - 数学
    - 一部 二部、三部
    - 一、代数 四問（一〇〇） 五問（一〇〇）
    - 一、平面幾何 二問（五〇） 平面幾何二問（五〇） 三角法二問（五〇）
    - 一部ノ問題ト二部及三部ノ問題トハ各別ニ之ヲ選定スルコト
  - 歴史 五問（一〇〇）
  - 化学 五問（一〇〇）
- 七、試験問題選定担当割

	一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高
国語及漢文		○			○		○	
英語				○		○		○
独仏語	○							
数学	○			○		○		
歴史			○		○		○	
化学		○	○					○

問題提出期限 五月二十五日迄ニ発送

国語及漢文、英語ノ試験問題ハ成ルヘク其ノ出所ヲ記入スルコト

八、各小科目ニ其ノ満点数ヲ記入シテ印刷スルコト

九、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数等ニ関スル文部省告示案

一、高等学校ニ入学セシムヘキ生徒数

			一高	二高	三高	四高	五高	六高	七高	八高	通計
第一部	甲類	英語法律科、政治科、経済科、商科	80	42	40	80	80	40	40	42	669
	乙類	英語文科	40		40	35	35	40	35		
	丙類	独語法律科、政治科、独語文科	40	40	40	40	40	40	40	40	
	丁類	仏語法律科、政治科、仏語文科	40		35						
第二部	甲類	工科	68	40	80	40	80	40	40	80	468
	乙類	理科、医科ノ内薬学科	10	38	21	20	20	20	21	20	170
	丙類	農科	20	40	21	20	20	21	21	21	184
第三部	医科	80	80	42	45	45	42	45	42	421	
合計			378	280	319	280	320	243	242	245	2,307

備考

一、本表中ノ人員ハ都合ニ依リ減スルコトアルヘシ

二、第一高等学校ノ第三部ニ於テハ八十人ノ中凡ソ半数ハ独語ヲ以テ選抜試験ノ外国語ト為シ入学スルコトヲ得

一、選抜試験科目

国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、外国語（解釈、国文英独仏訳、書取）、数学（第一部入学志望者ニ対シテハ代数、平面幾何、第二部並第三部入学志望者ニ対シテハ代数、平面幾何、三角法）、歴史（第一部入学志望者ニ限ル）、化学（第二部並第三部入学志望者ニ限ル）

備考

一、国語及漢文ニ於テハ書取ニ付帯シテ文法上ノ正誤ヲ為サシム

二、外国語ハ各高等学校ヲ通シテ英語トス但シ第一高等学校ニ入学セントスル者ニ限り第一部丁類志望者ハ仏語、第一部丙類及第三部志望者ハ独語ヲ以テ選抜試験ヲ受クルコトヲ得

一、選抜試験施行ノ期日

七月十一日ヨリ同月十四日マテ

一、第一及第三高等学校ニ於テハ無試験検定ヲ行ハス

十、生徒募集公告

大学予科第一年生ヲ募集ス入学志望ノ者ハ左ノ各項ヲ心得願スヘシ

大正五年五月

第一高等学校  
第二高等学校  
第三高等学校  
第四高等学校

第五高等学校  
第六高等学校  
第七高等学校造士館  
第八高等学校

- 一 入学ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アル者ニ限ル
- 二 出願期間満了マテニ前項ノ資格ヲ得難キ事情アル者ハ本年七月三十一日マテニ其資格ヲ得ヘキ者ニ限り入学ヲ出願スルコトヲ得  
此場合ニ於テハ期限マテニ資格ヲ得難キ事情ヲ申告シ置キ其ノ資格ヲ得タルトキハ直ニ其旨ヲ申告スヘシ
- 三 募集人員及選抜試験科目等ニ関シテハ本年五月文部省告示第七十五号ヲ見ルヘシ
- 四 入学志望者ハ出願期間中ニ到着スル様入学志望者名票ニ検定料及写真（手札形半身脱帽、提出前六箇月以内ニ単身撮影シタルモノニシテ裏面ニハ第一志望部類氏名ヲ記入シタル）ヲ添ヘ入学志望ノ学校ニ提出スヘシ名票用紙ハ各高等学校ニ於テ之ヲ交付スヘキニ付入学志望ノ学校ニ出頭シ又ハ返信用封筒（自己ノ宿所宛名ヲ詳細ニ記入シ郵便切手式錢ヲ貼付セル）ヲ封入シ入学志望ノ学校ニ請求スヘシ。但シ第一高等学校ニ名票用紙ヲ請求スルモノハ志望部名ヲ申出ツヘシ
- 五 出願期間 六月十五日迄  
但シ第一高等学校ニ限り六月一日ヨリ同月十五日迄
- 六 出願受理場所 各当該学校
- 七 検定料ハ金五円トス現金ヲ以テ納付スヘシ  
既納ノ検定料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ返付セス
- 八 入学志望者ニシテ名票等ヲ学校ニ持参シ難キ者ニハ受験証票、受験人心得等ヲ送付スヘキニ付名票、写真、検定料現金ヲ返信用封筒（自己ノ宿所宛名ヲ詳細ニ記入シ郵便切手參錢ヲ貼付セル）ト共ニ封入シ価格表記ヲ以テ送致スヘシ
- 九 第一乃至第六高等学校又ハ第八高等学校ニ入学ヲ志望スル者ハ本年七月七日午前八時ヨリ午後三時マテノ間ニ於テ当該学校ニ出頭シ諸事承合スヘシ  
第七高等学校造士館ニ入学ヲ志望スル者ハ前項ノ日時ニ当該学校若クハ文部省ニ出頭シ諸事承合スヘシ
- 十 体格検査及選抜試験施行ノ場所  
各当該学校  
但シ第七高等学校造士館ニ限り当該学校及東京
- 十一 体格検査施行ノ日  
七月八日、九日、十日

## 十二 選抜試験施行ノ日時

国語及漢文 七月十一日（火曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
代数、平面幾何 同十二日（水曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
外国語 同十三日（木曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ  
歴史 同十四日（金曜日）午前八時ヨリ同十時マテ  
化学、三角法 同十四日（金曜日）午前八時ヨリ同十一時マテ

第二諮問 外国人特別入学規程ニ依リ入学ヲ許可セラレタル者ノ取扱方ニ関スル件

一、外国人（志那特別依託生ヲ除ク）又ハ朝鮮及台湾人ニシテ明治四十一年三月文部省令第九号ノ資格アルモノニ対シテハ本邦（内地人）ト同シク選抜試験ヲ受ケシム。但シ入学ノ拒否ニ関シテハ多少ノ斟酌ヲ加フルモ差支ナシ

入学ヲ許可シタル者ハ之ヲ本科生トシテ取扱ヒ課程ヲ終了シタルトキハ卒業証書ヲ交付ス

二、前項以外ノ者ハ総テ本科生トシテ取扱ハス

### (3) 協議事項

協議事項は6件あり<sup>55)</sup>、そのうち5件が入学者選抜試験に関わる事項である。

一、七月下旬文部省ニ於テ体操主任教官打合会ヲ、八月上旬数学主任教官打合会ヲ開カレタキコト

二、入学者選抜試験問題中、作文及外国語書取ハ二問宛ヲ出題スルコト

三、入学者選抜試験問題選定ニ際シ、代数ニ於テハ順列組合及二項定理ヲ除クコト

四、入学者選抜試験問題ハ已往五ヶ年間ニ於テ直轄学校入学試験ニ出題セサルモノヲ選フコト

五、入学者ヲ官報ニ発表スルニハ族称ヲ略スルコト

六、入学者ハ五十音順ニテ発表スルコト

## おわりに

高等学校長会議では、文部省が、入学者選抜試験、外国語教授法、教科書の選定、帝国大学各学科に志望者を配当する方法等について諮問し、入学者選抜試験、外国語教授法の実施成績と今後の実施方法、帝国大学各学科への進入方法等の事項について決議を行った。また、入学者選抜試験、高等学校の学力検定の方法、各科目主任教官打合会の開催等について協議した。

なかでも、入学者選抜試験は、毎年の決議事項の大部分をしめる重要な事項であった。すなわち、文部省の示した「高等学校大学予科入学者選抜試験規程」案に修正を加えた他、試験日程、試験の科目・時間・配点、試験問題作成の分担校、募集生徒数、『官報』に掲載する試験に係る文部省告示案と「生徒募集」広告案等、具体的な内容について決議し、

試験問題の数や内容、入学許可者発表の書式等、詳細な内容について協議を行った。

筆者が課題としている東北農大予科入学者選抜試験に関わる高等学校長会議決議事項は、下記の7件を確認した。

〔1909年〕

二、東北農科大学予科及第七高等学校造士館ハ各自他ノ学校ニ先シ入学者選抜試験ヲ施行シ他ノ七個高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1910年〕

一、東北農科大学予科及第七高等学校造士館ハ各自他ノ学校ニ先シ入学者選抜試験ヲ施行シ他ノ七個高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1911年〕

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1913年〕

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1914年〕

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1915年〕

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

〔1916年〕

一、東北帝国大学農科大学予科ハ各高等学校ニ先チテ入学者選抜試験ヲ施行シ各高等学校ハ同時ニ之ヲ施行スルコト

いずれも試験日程に関わる事項であり、1909年と1910年は東北農大予科と第七高等学校造士館が、1911年以降は東北農大予科が他の高等学校に先行して試験を実施するという内容である。試験日程をはじめとし、高等学校長会議の決議事項や協議事項を踏まえた東北農大予科の入学者選抜試験の実施については、稿を改めて検討する。

〔注〕

- 1) 1907年6月22日付『官報』1ページ。
- 2) 前掲1907年6月22日付『官報』1-2ページ。
- 3) 「大学予科規則」、『東北帝国大学農科大学一覧 自明治四十年至明治四十一年』1907年12月、40-41ページ。
- 4) 「農科大学学則」、前掲『東北帝国大学農科大学一覧 自明治四十年至明治四十一年』、31ページ。
- 5) 1907年5月13日付『官報』12ページ。
- 6) 1907年5月4日付『官報』4-5ページ。
- 7) 1907年5月4日付『官報』26ページ。
- 8) 1886年4月10日付『官報』3-4ページ。
- 9) 1894年6月25日付『官報』2ページ。
- 10) 1894年7月12日付『官報』5ページ。
- 11) 1897年4月17日付『官報』3ページ。
- 12) 1900年4月19日付『官報』2ページ。
- 13) 1901年4月1日付『官報』4ページ。
- 14) 1901年6月7日付『官報』12ページ。
- 15) 1906年3月31日付『官報』23ページ。
- 16) 1908年4月8日付『官報』4ページ。
- 17) 1894年7月21日付『官報』1-2ページ。
- 18) 1918年12月6日付『官報』2-3ページ。
- 19) 1918年12月6日付『官報』1-2ページ。
- 20) 1903年4月21日付『官報』2-3ページ。
- 21) 高等学校長会議を主として論じた先行研究として、小暮克哉・前田剛・前田玲子「旧制高等学校長会議の研究」(『大学アドミニストレーション研究』第10号、2020年3月)があり、1923年～1926年を対象としている。
- 22) 1908年は、「高等学校長会議」(1908年4月9日付『読売新聞』朝刊1面)に宮部金吾が出席とある。1909年～1911年は、溝淵進馬(予科教授、予科主任)履歴資料(「退職者履歴資料二、6、明治44」)所収、北海道大学大学文書館所蔵、以下所蔵を略す)に、「高等学校長会議ニ参列ノ為メ文部省へ出頭ヲ命ス／農科大学」とあり、溝淵が出席した。1912年、1914年、1915年は、渡辺又次郎(予科教授、予科主任)履歴資料(「退職者履歴資料五、1、大正9」)所収)に、「高等学校長会議参列ノ為上京ヲ命ス／農科大学」とあり渡辺が出席した。1916年も、「高等学校長会議(一日)」(1916年4月29日付『朝日新聞』朝刊4面)に渡辺が出席とある。1913年、1917年は、青葉萬六(予科教授)履歴資料(「退職者履歴資料一八、昭和12」)所収)に、高等学校長会議開催の直前に「大学予科主任上京不在中事務代理」となった旨の記述があり、予科主任の渡辺が高等学校長会議に出席のため不在にしていたと推定できる。
- 23) 「高等学校長会議」(1907年4月21日付『読売新聞』朝刊2面)、「高等学校長会議」(1907年4月28日付『読売新聞』朝刊2面)。
- 24) 1907年4月9日付発専30号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鎌二郎文部省専門学務局長通知、[諮問事項]、「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」(熊本大学五高記念館所蔵、以下略す)所収。文書名が明記されていない場合、筆者において[]で簡潔に内容を示す。以下同じ。
- 25) 1907年4月10日付発専31号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鎌二郎文部省専門学務局長通知、[諮問事項追加]、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
- 26) 1907年5月8日付発専60号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鎌二郎文部省専門学務局長通知、[決

- 議要項の写送付]、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
- 27) 「高等学校長会議」(1908年4月7日付『読売新聞』朝刊2面)。
  - 28) 1908年9月1日付文部大臣官房文書諮申五専25号、第五高等学校宛て文部省専門学務局通知、[決議事項写送付照会の件]、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 29) 「高等学校長会議協議要目」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 30) 「高等学校長会議(一日)」(1909年4月16日付『読売新聞』朝刊2面)、「高等学校長会議(終了)」(1909年4月27日付『読売新聞』朝刊2面)。
  - 31) 1909年3月31日付発専26号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鐸二郎文部省専門学務局長通知、[諮問事項通知]、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 32) 1909年5月22日付省専14号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て松浦鐸二郎文部省専門学務局長通知、「明治四十二年四月高等学校長会議決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 33) 「高等学校長会議(入学試験決定)」(1910年5月10日付『読売新聞』朝刊2面)、「高等学校長会議(第六日)」(1910年5月17日付『読売新聞』朝刊2面)。
  - 34) 1910年4月20日付発専49号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鐸二郎文部省専門学務局長通知、「高等学校長会議諮問事項」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 35) 「明治四十三年五月高等学校長会議決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 36) 「処務 学校長会議」『日本帝国文部省第三十九年報 自明治四十四年四月至明治四十五年三月』上巻、1913年10月、5ページ。
  - 37) 1911年4月1日付発専58号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て福原鐸二郎文部省専門学務局長通知、「高等学校長会議諮問事項」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 38) 1911年5月2日付発専82号、第五高等学校宛て文部省専門学務局通知、「決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 39) 「処務 学校長会議」『日本帝国文部省第四十年報 自明治四十五年四月至大正二年三月』上巻、1914年12月、2ページ。
  - 40) 同上。
  - 41) 「処務 学校長会議」『日本帝国文部省四十一年報 自大正二年四月至大正三年三月』上巻、1915年10月、3ページ。
  - 42) 同上。
  - 43) 1913年5月12日付省専5号、松浦寅三郎第五高等学校長宛て松浦鎮次郎文部省専門学務局長通知、「大正二年五月高等学校長会議決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 44) 「処務 学校長会議」『日本帝国文部省第四十二年報 自大正三年四月至大正四年三月』上巻、1916年9月、3ページ。
  - 45) 1914年4月18日付発専74号、吉岡郷甫第五高等学校長宛て松浦鎮次郎文部省専門学務局長通知、「諮問事項」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 46) 1914年5月6日付発専93号、吉岡郷甫第五高等学校長宛て松浦鎮次郎文部省専門学務局長通知、「大正三年五月高等学校長会議決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 47) 「協議事項」、前掲「高等学校長会議決議 自明治三十九年至大正三年」所収。
  - 48) 「処務 学校長会議」『日本帝国文部省四十三年報 自大正四年四月至大正五年三月』上巻、1917年8月、5ページ。
  - 49) 同上。
  - 50) 1915年5月5日付発専109号、吉岡郷甫第五高等学校長宛て松浦鎮次郎文部省専門学務局長通知、「大

正四年四月高等学校長会議決議書」、「高等学校長会議決議 自大正四年至大正六年」(熊本大学五高記念館所蔵) 所収。

- 51) 「協議事項」、前掲「高等学校長会議決議 自大正四年至大正六年」所収。
- 52) 「高等学校長会議(一日)」(1916年4月29日付『朝日新聞』朝刊4面)。なお、『日本帝国文部省第四十四年報 自大正五年四月至大正六年三月』(上巻、1918年8月、4ページ)では、開催期間が「五日間」とあるが、開催日が「四月二十七日ヨリ」となっている。
- 53) 1916年5月16日付発専97号、吉岡郷甫第五高等学校長宛て松浦鎮次郎文部省専門学務局長通知、「大正五年四月高等学校長会議決議書」、前掲「高等学校長会議決議 自大正四年至大正六年」所収。
- 54) 同上。
- 55) 「協議事項」、前掲「高等学校長会議決議 自大正四年至大正六年」所収。

【後記】 本研究は、JSPS 科研費 JP19K14049の助成を受けたものである。

(ひろせ きみひこ／北海道大学大学文書館員)